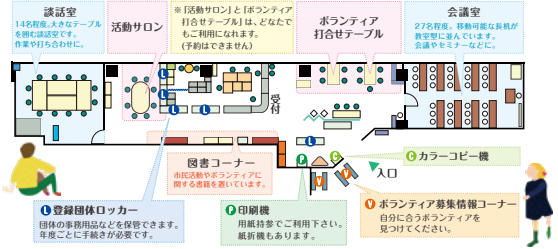


施設利用にあたってのお願い・ご案内

～皆さまに快適に、有効に“ちばさぼ”をご利用いただくために～
当センターより、主に登録団体の皆様向けの施設利用にあたってのお願い(注意事項)や、最近お問合せの多い、団体登録の要件などのご案内をまとめてみました。既に当施設をよくご利用いただいている方も、これからの利用をご検討の方も、どうぞご一読ください!



○ご利用にあたってのお願い

- ・会議室や印刷機等の予約をキャンセルされる場合は、できるだけ早く当センター宛てに、**必ずご連絡**をお願いいたします。
- ・会議室や印刷機等の予約は、抽選予約期間を除いて電話でも受け付けますが、その後お早めに**使用許可申請書(利用予約書)**をご提出ください。(メール・FAX等での提出も可)
- ・談話室と活動サロンの間の壁は、上部が開放構造になっていますので、**声の大きさなどにご配慮**ください。

○団体登録の要件について

会議室や印刷機等の設備や一部サービスの利用は、団体登録が必要となります。新規に団体登録を希望される団体は、必要事項をご説明の上、登録に必要な書類をお渡します。なお、団体登録の主な要件は次のとおりです。

- ・市民公益活動を行っているもの及び行おうとするもの。

- ・営利活動、宗教活動、政治活動及び選挙活動を目的とするものでないこと。
 - ・千葉市内に所在地がある、または主に千葉市内で活動している団体であること。
 - ・構成する人数が2名以上の団体であること。
- ※営利組織内のボランティアサークルなど、社会貢献を目的とする団体は登録が可能です。
※町内自治会の登録も可能です。

○「利用案内」をご覧ください!

会議室等の予約方法や、団体登録についての詳しいご説明の他、設備の概要、利用全般における注意事項などを「千葉市民活動支援センター 利用案内」(A4判4ページ)にまとめています。当センターにて配布等している他、以下の当センターのホームページ(右のQRコード)

からダウンロードすることも可能です。

<https://chiba-npo.net/about/>



ミニコラム

ちばさぼの風 vol.60

ソーシャル・ファシリテーション

■ファシリテーターとは

ビル管理などを行う企業名に「ファシリティ (facility)」という言葉が使われる例があるが、会議の場における「ファシリテーター」は、もちろん設備点検の人ではない。ウィキペディアによれば「グループや組織がより協力し、共通の目的を理解し、目的達成のための計画立案を支援する人」である。論点やゴールを明確にしなが、参加者全員が納得できるようにする、いわば交通整理役といいたい。助言者や学識経験者のように「より良いアイデアや進むべき方向を示す」のではなく、「参加者の中にあるアイデアや希望を引き出して、明確にし共有しながら、皆が納得できる方向に進むよう支援する」のがファシリテーターだ。

■社会活動におけるファシリテーション

当センターの登録団体はすべて何らかの形で「社会」とつながり、地域づくりや、社会問題の解決に取り組む活動を行っている。こうした活動に、会議や打合せは不可欠だ。しかし各人の思いが強いがゆえに、時として対立や決裂に至ってしまうことがある。そのような場面でこそ、ファシリテーションが生かされるのである。

■誰もがファシリテーターに

参加者の何人かがファシリテーター的な意識をもつと会議はスムーズになる。ポイントをあげてみよう。

①忌憚なく

まずは、皆が心おきなく意見を言える場を作ること。ファシリテーションの本にしばしば「アイスブレイク」が取り上げられるのはこのためである。話が長い人や同じことを何度も

言う人は、実は緊張している例が多い。ちょっとした息抜きで、会議はスムーズになるかもしれない。

②わかりやすく

言葉の理解が違っては話し合いが成立しないと、誰もがわかっているはずだが、外来語や熟語が多用されると意味の違いどころか、論点さえあいまいになる。無駄な時間を作らないためには、「やさしい日本語」で短く話そう。必要なら「それ、今の会議では○○を○にするという意味ですね」と確認しても、失礼には当たらない。

③見える化

板書や付箋を使うと「何を話しているか」が明確になる。メモはファシリテーションに有効なツールだ。キーワードだけでなく「何をどうする」までは書きたい。複数の意見が出た場合は理由も簡単にメモしておく、後で振り返るときにスムーズだ。

④結論を急がない

A案かB案かで意見が割れる場合、二者択一とは限らず、話を進めるうちにAもBもという形が取れるかもしれない。もっと話すと全く別のC案で合意できるかもしれない。

その日のうちに決めなければいけないゴールを明らかにしておくことで、無理に決を取るということも防げる。

※ファシリテーションに関する本はセンターにも何冊もあり、登録団体には貸し出しも行っている。

【おすすめ書籍】

「ソーシャル・ファシリテーション」

北樹出版

著者：徳田太郎・鈴木まり子

実際の活動事例を交えながらの具体的な解説は読みやすく、かつ納得できる。著者は二人とも日本ファシリテーション協会の役員。

